



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 彦坂和夫の魅力を探る……………2ページ
- 食生活改善推進員・今月の花……………3ページ
- 地域の話(福江校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

市民登壇! 画家 彦坂和夫の魅力を探る



永田篤子 (童浦校区)

田原市出身の画家、彦坂和夫さん。

画家だけでなく、環境保護活動にも取り組む彦坂さんの魅力をお伝えします。

皆

さんは、田原市ゆかりの画家と聞いて、思い浮かぶ方はどなたですか。多くの方は、藩士学者・画家とさまざまな顔を持っていた渡辺華山の名前が出てくると思います。



●行動美術展奨励賞を受賞した作品「酸化する空間」

今回は、激動の幕末を生きた渡辺華山ではなく、現在も活躍している田原市出身の彦坂和夫さんについてご紹介します。

彦坂さんは、田原中学校在学中、仲谷孝夫氏に美術の指導を受け、その後、成章高校、武蔵野美術大学(現在の武蔵野美術大学)で西洋画を学びました。



●来場者へのお礼として作ったポストカード

行動美術協会展入選や行動美術協会奨励賞受賞という絵画や立体芸術で数多くの受賞歴を持っています。

田原市博物館では、平成23年に夏の企画展「彦坂和夫展」、平成25年に「田原の美術」仲谷

孝夫・彦坂和夫展」を開催しました。

その際、彦坂さんは来場者へのお礼としてご自身で作品を掲載したポストカードを作成したこともあったそうです。彦坂さんの人柄が伺えますね。

美術を通して考える環境保全

彦坂さんは、美術だけではなく、環境保護活動にも熱心に取り組んでいます。描いていた松の木が松食い虫に食われたのがきっかけでした。絵を描く以前と環境が変わっていることに気づき、環境汚染に対する思いが生まれたそうです。その意識は、非絵画としての立体芸術などを通して自然と歴史の大切さを訴えています。

平成23年に開催した企画展のテーマも、アートをエコロジーに結びつける「自然との共生」



●機械の虫

でした。

国の自然再生事業にも積極的に携わり、中心メンバーとして活動した河川の再生活動では成功を収めています。その活動は現在も「野川ほたる村」として継承され、都市部での貴重な清流を維持しています。

彦坂さんの作品は、「自然との共生」の大切さを気付かせてくれる力強いメッセージが込められていました。

取材を終えて

私は、結婚を機に田原市に移住したのですが、以前から彦坂さんの作品が好きで、田原市に引っ越したら博物館で、彦坂さんについて調べてみたいと思っていました。今回、皆さんに彦坂さんの作品を知っていただきたいと博物館で取材をしてきました。この記事に合わせ、博物館では、12月6日まで、特別に何点か彦坂さんの作品を展示していただけるそうです。皆さん、ぜひこの機会に人と自然を愛する彦坂さんの作品を間近でご覧ください。